



Numazu association for International Communications &amp; Exchanges

発行日 2015年1月1日  
発行者 NICE沼津国際交流協会  
(企画広報部会)  
所在地 沼津市御幸町16番1号  
(事務局) 沼津市役所市民協働課内  
☎055-934-4717  
FAX055-931-2606  
<http://www.nice-numazu.org/>



▲平成26年10月10日 岳陽市友好訪問団来沼 沼津市役所にて

# 深めよう！友好都市との絆！ 高めよう！国際力



▲平成26年11月23日 国際交流フェア サンウェルぬまづにて

## 岳陽部会

### 『<sup>せいえいか</sup>盛嶸樺岳陽市長を代表とする 友好訪問団 来沼』

岳陽部会部長 鈴木康圀

去る10月10日、<sup>せいえいか</sup>盛嶸樺市長を代表とする、岳陽市友好訪問団5名の皆さんが沼津市を訪れた。今回は中国の反腐敗運動の関係で、いつもより少ないメンバー構成であったが、市長が訪れたのは久しぶり、岳陽市の気合いが感じられた。外事僑務弁公室副主任の王詩寛さんも沼津の訪問は10年ぶり位だったと思う。訪問前々日8日まで重要会議を行い夜便で前泊地の上海に移動する超多忙スケジュールのなか、10日当日には朝早く7時45分箱根のホテルを出発の報には驚いた。市長表敬には遅れないようにという意気込みが感じられた。

市役所に到着。市役所玄関前で河南正幸・井原三千雄両副市長始め多くの市職員の皆さんが出迎える中、予定通り11時から、栗原裕康沼津市長・真野彰一議長への表敬訪問が行われた。冒頭、盛市長より台風18号による災害に関しお見舞いの発言があった。

また盛市長は、今回の訪問について主要目的は三項目あり、一つ目は沼津市との友好を深め更なる発展に努め強化すること（今年度は教育研修生の二人が沼津市立高において9月から3ヵ月間研修を受けた）。二つ目は1985年に友好都市提携し来年度30周年を迎えるにあたり、岳陽市で記念式典を挙行することを提案、沼津市長を正式に招聘した。三つ目は洞庭湖に博覧館を建設するための研究をすること（離沼後、滋賀県の琵琶湖博物館を訪問、運営方法など勉強し建設の参考とする）などと述べ、その後、お互い記念品の交換を行った。



【記念品の説明をする盛市長（中）と王副主任（左）】  
続いて歓談の際には、岳陽市の現状説明があつ

た。国道107号をはじめとする道路網の発達で、高速道路も北京～広州まで開通（岳陽市は中間に位置する）、三峡の入口である宜昌にも4時間程度で訪問でき、ダム見学も容易にできるようになった。世界遺産の張家界観光も岳陽市華陽県経由で専用道路を利用できる。また高速鉄道もあり、北京までは6時間強で行けるようになった。最大のプロジェクトは2017年開港予定の空港建設で、当面は国内線の多数運航を目標にしているとのこと。今後も観光都市岳陽をめざし開発に努める等々、岳陽市アピールに感心するばかり。最後に記念写真を撮影し、表敬訪問を終了した。



【和やかな雰囲気で行われた表敬訪問】

表敬訪問を終え、専用車で御用邸記念公園へ。東附属邸においての昼食会では栗原市長・真野議長と楽しいひと時を過ごした。昼食後は井原副市長の案内で港湾を散策、夜は熱烈歓迎会に。歓迎会には栗原市長はじめ40名の皆さんが参加され、盛大に行われた。開始間もなくサプライズ、参加者全員ハッピーバースデーの歌と共に盛市長の誕生日（10月14日）を祝い、一気に盛り上がり岳陽側面々も興奮気味、忘れられない沼津市訪問になったと思う。盛市長が各テーブルを回り挨拶される姿は、我々にとって良い印象を与えてくれた。



【誕生日ケーキのろうそくを吹き消す盛市長】

今回は台風の動きが大変気になるところだったが、18号も19号も沼津訪問日の10日を避けてくれ、大変穏やかな日和に。思えば8月22日に王詩寛さんより訪沼の依頼があつてから短時間

で準備をして頂いた上に、天候まで味方に、市民協働課の芹澤恵美子課長を筆頭に担当職員の皆さんの努力に改めて“非常感謝”。来年度には友好訪問団として岳陽市を訪問し、皆さんと共に記念すべき友好都市提携30周年を祝いたいと思う。

歓迎会後盛市長を部屋に送る際、「今日は本当にありがとう。今度岳陽に来たら自宅で歓迎するから、必ず連絡をするように」と言葉をかけて頂いた。王詩寛さんからの「大変お世話になりました。本当にありがとう。」という言葉が印象的だった。これまで岳陽に関わってきて良かったなと思った。

## 『“言葉”と“太極拳”で日中交流！Vol.91続編』

岳陽部会副会長 工藤勝秋

7月24日『NICE中国文化講座2014』において講師をお願いした呉川教授の従弟である張文旆老師が、偶然にも家族旅行で来日中でした。そこで教授から太極拳で“武術文化交流”をしてはどうかとの打診があり、3日後の27日、沼津市民体育館で実現しました。

張文旆老師は雲南内家象形拳の継承人です。

雲南内家象形拳は『武術と気功を融合させた最上気功法で、稀に見る独特の功法で数多くの難病をも治癒した』と言われております。この拳は『動物形態を模倣し、ただ酷似のみを追求する事で、一定の境界まで鍛錬すると、形のあるなし、勢いのあるなしに関わらず、行拳は自然流暢で、形象は生動に迫るものとなる』との解説でした。理法は“拳あって拳なし、拳なくして拳であり、意があって意がない”です。

私は毎年中国で太極拳の勉強をしています、張老師の形象拳は今までに見た事も無いものであり、その“物真似の凄さ”は衝撃的で、実技指導で見せた張老師はまさに『亀』そのものになっていました。



【張老師（前列中央）と呉教授（前列右2番目）を囲んで】

## ふれあい部会

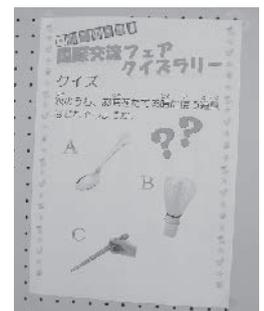
### 『国際交流フェア』

11月23日（日）サンウェルぬまづにて、毎年恒例の国際交流フェアを開催しました。

今年のフェアは、今までよりもさらに来場者を増やす工夫として、ブース部門で食品や小物の販売を行いました。お茶、チョコレート、チュロス、ピロシキ、野菜、水餃子、キューバコーヒーなど各ブースで工夫して販売していただきました。



また、ブースの展示をしっかりと見ていただきたいと思い、各ブースを回ってクイズに回答するクイズラリーも行いました。子どもから大人まで多くの方に楽しんでいただき、景品の国旗マグネットも好評でした。



## ふれあい部会

沼津市はご存じのとおり、カラマズー市と姉妹都市提携、岳陽市と友好都市提携を結んで交流を続けていますが、残念ながら市民には意外とその事実を知られていません。もっとPRが必要であると考えられます。PR方法はいろいろあると思いますが、フェアもPRの場とすることができます。そこで今年のフェアでは、カラマズーブースと岳陽ブースの面積を拡大し、より力を入れて展示や試食、販売を行いました。

試食をしながら説明を聞いたり、来場者との交流を深め、情報を得ることができたようです。



▲カラマズーブース



▲岳陽ブース

今年は新たにメキシコ・日本ブースが設けられ、障害者支援施設で制作された小物、野菜、パンやメキシコ発祥のチュロスの販売や、ナチョスの試食の提供がありました。朝採りのレタスはあっという間に完売しました。



▲メキシコ・日本ブース

ステージ部門は、最近人気急上昇中のご当地にぎわいアイドル「オレンジポート」の元気で

ノリの良いパフォーマンスから始まり、ハワイアン、太極拳、箏曲、着装、キューバパーカッション、日本舞踊、津軽三味線、イラン舞踊と素晴らしい演奏や演舞を見させていただきました。



▲オレンジポート

今年初出場のフィリピンは、キャンドルを持って踊る伝統的なダンスを披露してくれました。



▲ハワイアンフラダンス



▲フィリピン

天候にも恵まれ、3連休の中日ではありましたが、総勢約500人の来場があり、とても賑やかなフェアとなりました。

### \* 国際スポーツ交流会のお知らせ \*

スポーツを通じて国際交流をしませんか？  
バドミントン、バレーボール、バスケットボール、ソフトバレーボール、10人11脚など…  
昨年人気の高かったカローリング（陸上版カローリング）、クリケットも実施予定です。

- 開催日時：2015年2月7日（土）  
13時～16時
- 会場：沼津市民体育館

参加  
無料

※運動の出来る服装でご参加ください。  
※体育館シューズ、タオル、飲み物等各自で。

## 国際理解教育部会

### 2014 NICEにほんごスピーチコンテストを終えて

11月1日（土）沼津市立図書館にて、NICEにほんごスピーチコンテストが行われました。入賞者は、以下の皆さんです。（敬称略）

**\* 優勝 \*** アロンゾ デマサオカ マリア デルカルメン (パラグアイ)

『日本語と私の出会い』

来日当時は、お仕事（3時間残業）と4人の子育てと日本語学習でとても忙しかったが、日本語学習に対する情熱で乗り越えたそうです。



優 勝

**\* 準優勝 \*** <sup>きつつ</sup>吉津 かな (フィリピン)

『6月1日』



準優勝

**\* 第三位 \*** <sup>よう えんくん</sup>楊 婉君 (中国)

『日本の不思議』



第三位

**\* 審査員特別賞 \***

① ベラスコ レイナ (フィリピン) 『人生の冒険』

**\* 審査員特別賞 \*** ② <sup>まん れい</sup>万 玲 (中国) 『日本で感動したこと』

以前から周知不足に悩んでいましたが、ケーブルテレビの東海ネットワークさんより「トコちゃんわがまちニュース」の取材依頼があり、部会員の山崎さんが堂々と市民リポーター役を務めました。（11/5放映済み、静止画のみご覧いただけます。）<http://toco-chan.tv/report/detail/report179.html>



来年度もスタッフ全員で頑張りますので、是非お越し下さい。お待ちしております。



## カラマズー部会

### 2014 最後のYear-End Party

Year-End Partyが12月6日（土）サンウェルぬまづにて開催されました。



「市民参画型 育児ミュージカル」の皆さんによるデモンストレーションを皮切りに、沼津城北高校吹奏楽部の皆さんによる演奏、全員参加のゲーム大会、仮装コンテストの表彰、空クジ無しのビンゴ大会と最後まで大いに盛り上がりました。



今回は、高校生の若い力を導入することで、お友達やご家族がたくさん参加してくださいました。残念ながら2014年度で最後となりましたが、参加者136人と過去最高を記録し、有終の美を飾ることが出来ました。



皆様のご協力に心から感謝申し上げます。